

地方創生に貢献する外国人留学生

資料3

● 留学生による地方創生に貢献する事例について大学を中心にヒアリングを行い、以下 4 類型に整理した。

地域で起業している事例

地域の伝統産業・文化の継承に従事している事例

地域の主要産業の振興に従事している事例

地域のエッセンシャルワーカーとして生活基盤を支えている事例

留学生Aさん

アゼルバイジャン

金沢大学 医学系研究科
博士後期課程 (H25年 修了)

- 白山ユネスコエコパークおよび白山手取川ジオパーク登録地域を活用し、地元NPO法人与自然、留学生と農村地域住民の世代間交流を促進し、SDGsに貢献する事業を展開。
- 現在は、金沢大学学長補佐(国際渉外・SDGs担当)として大学に貢献するとともに、教員の立場から、大学の国際化に資する事業を実施している。

留学生Bさん

中国

東洋大学 経済学研究科 (R7年 修了)

- 富山県上市町「地域おこし協力隊」の町内初の外国人隊員として赴任。
- 0円空家バンク情報やイベント情報の広報活動を担当。
- 今後、上市町役場と地域おこし協力隊が共同でインターンシップを主催し企画・運営を担う予定。

留学生Cさん

中国

北海道大学 工学院 (在学中)

- 留学生に日本文化を紹介する団体を運営。
- 札幌市と提携して、札幌市や日本国内で就職を目指す外国人留学生に対して、企業へのマッチング等支援を行うことを目的とした会社を設立。

留学生Dさん

バングラデシュ

広島大学 医系科学研究科
博士後期課程 (R6年 修了)

- 広島大学在学中、広島市内のデイクアセンターにて日常的なケアや認知症の高齢者を対象としたレクリエーション活動等に従事。
- 現在は、広島大学大学院医系化学研究科の特任教授として、介護施設での経験をもとに、地域との連携を図りながら、小児・家族看護分野の教育と研究に取り組んでおり、国内での同分野の振興に努めている。

留学生Fさん

ポーランド

熊本大学 文学部 (H27年10月-H28年9月 在籍)

- 文部科学省奨学金を活用し 1 年間に在籍。
- 熊本市内企業の総務課人事部署にて、海外からの実習生の受け入れにかかる業務を行う。
- 同じ外国人として海外からの実習生にも的確なアドバイスができるよう、通訳と協力し日本語などの勉強会も開催している。

留学生Gさん

タイ

鹿児島大学 連合農学研究科 (在学中)

- 鹿児島県産農産物 (志布志メロンと知覧抹茶) の海外輸出促進に関する助言を農家に対して行っている。
- 日本舞踊を継承するための活動として、5か月間練習に励み、舞踊発表会でその成果を披露した。
- 在日タイ留学生協会 (TSAJ) の鹿児島県代表を務め、タイから日本への留学希望者に対して、鹿児島県をPRするとともに、県内外でのイベントで自国の魅力を伝えてきた。
- 国際協力センター(JICE)のメンバーとしても活動している。

留学生Hさん

モンゴル

信州大学 理工学系研究科 (H29年度 修了)

- 大学で学んだ電池関係の研究経験を活かして、長野県上田市に本社を構える計測器メーカーに入社。
- 入社後は車載機器向け計測装置の研究開発に従事。
- ワイヤレス充電評価装置のプロジェクトを担当し、先端技術の担い手として活躍している。